

市長とおしゃべりしませんか

市民の皆さんと市長がより親しみをもって対話できる場「市長と“おしゃべり”しませんか」が、12月13日に札幌国際プラザの交流サロンで行われました。当日は外国籍の市民や留学生、ボランティア団体の方などが参加し、どのように札幌のまちづくりに関わっていけるかなどについて話し合いました。

[詳細](#)市民の声を聞く課 ☎211-2042



留学生が
発言できる場として、
例えば留学生・
外国人が運営する
ラジオ局があれば
いいなと思います。

●北海学園大学
留学生会代表
奇 英花さん

市長から ミニFMなら十分可能性があるの
ではないでしょうか。今、地域の中でも自分たちがど
ういった活動を行っているのかを、知らせる場所が
ほしいという意見が出ています。ミニFMはそういっ
た場として、これから重要な役割を果たすのではないか
と思います。

外国人にかかる
問題を担当する、
オンブズマンの
ような制度があれば
いいと思います。

●うえるかむはうす代表
ジェームス・マイレットさん

市長から 外国の方の悩みについて、いろ
いろ相談できるシステムは大切ですね。この国際プラ
ザも協力してもらえる場所の1つですよ。また人
権にかかる問題などは、弁護士会で相談を受け
付けています。そういった活動を、これからは皆さん
にお知らせしていかなければなりませんね。

グリーン
コンベンションという、
環境に配慮した
※コンベンションを
札幌の街から発信
できないでしょうか。

●NPO法人コンベンション
札幌ネットワーク代表
藤田 靖さん

市長から 札幌の特徴を生かしたグリーン
コンベンションという考え方は、とても参考になりますね。
環境には木を植えたり、ごみを減らす努力を
したりと、いろんなアプローチの仕方があります。コ
ンベンションを通じて「環境保全に努力する街・札幌」
というまちづくりが進むことにもつながると思います。

小中学校で、
留学生が自国の文化を
紹介して異文化交流
できる時間をつくり、子供
たちに本物の国際感覚を
身に付けてほしいと
思います。

●外国語ボランティア
長澤 浩代さん

市長から 現在、学校教育の中で留学生
の力を生かせるような取り組みを来年から行えない
か議論中です。また学校以外でも、市内103カ所に
ある児童会館で子供たちと留学生が異文化交流な
どの活動ができるよう、具体的に検討しているところです。

みんなでつくる「多文化共生都市」さっぽろ！